



2020年5月22日

各 位

会社名 株式会社 オ プ テ ィ ム
代表者名 代表取締役社長 菅 谷 俊 二
(コード番号：3694 東証第一部)
問合せ先 管理担当取締役 林 昭 宏
(TEL. 03-6435-8570)

(訂正)「2020年3月期決算説明会資料」の一部訂正について関するお知らせ

2020年5月22日に公表しました「2020年3月期決算説明会資料」に、一部訂正すべき事項がございましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正理由 当社が実施しました「2020年3月期決算説明会」において使用した資料と差異があったため。
2. 訂正内容 「2020年3月期決算説明会」にて使用していなかったページを削除いたしました。

<訂正の内容>

12 ページを削除

以 上

2020年3月期 決算説明会

2020年5月22日
株式会社オプティム
代表取締役社長 菅谷俊二

1. 会社概要
2. 2020年3月期 決算ハイライト
3. 新型コロナウイルスに伴う対応
4. 2020年3月期 主要活動実績
5. 2021年3月期 業績予想

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

会社概要

- 商号：株式会社オプティム（東京証券取引所市場第一部：3694）
- 設立：2000年
- オフィス：
 - OPTiM TOKYO（東京本社）
 - OPTiM SAGA（佐賀本店：佐賀大学内）
 - OPTiM FUKUOKA
 - OPTiM KOBE
- 代表者：菅谷俊二（佐賀大学農学部招聘教授）
- 総スタッフ数：593名
（2020年5月現在：派遣・契約・バイト含む）
 - 平均年齢：32.8歳
- 主要株主
 - 菅谷 俊二、東日本電信電話株式会社、富士ゼロックス株式会社 等



東京本社



佐賀本店

ネットを空気に変える

株式会社オプティム 代表取締役社長

菅谷 俊二



当社は、「ネットを空気に変える」というコンセプトを掲げ、もはや生活インフラとなったインターネットが、いまだに利用にあたりITリテラシーを必要とする現状を変え、インターネットそのものを空気のように、全く意識することなく使いこなせる存在に変えていくことをミッションとして、創業以来すべての人々が等しくインターネットのもたらす、創造性・便利さを享受出来るようサポートするプロダクトの開発に尽力しております。

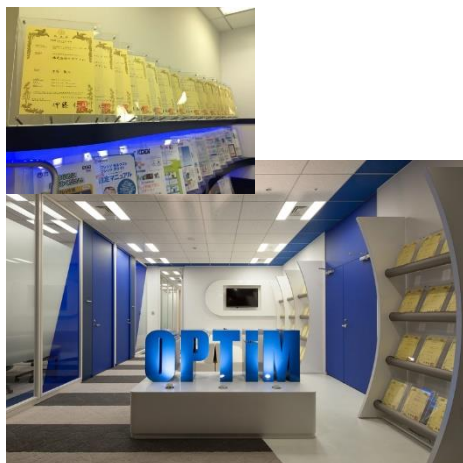
知財戦略に基づく豊富な技術力、及び、事業創造力を背景に、常に革新的なサービスを提供し新しい市場を開拓してきました。また、AI・IoT・Big Dataのマーケットリーダーとして、各産業のトッププレイヤーと強固なビジネスディベロップメントを推進しております。国内市場ではシェアNo1のサービスを擁し、豊富なライセンス収益を基盤としたビジネスモデルを確立しております。

特徴（強み）	内容
1. 豊富な技術的発想力	国内初・世界初を実現する特許に基づいた機能・製品・サービス・ビジネスモデル開発（当社代表は情報通信分野における個人特許資産規模ランキング1位 ^{※1} を受賞）
2. 高度な技術力	得たライセンス収益を次世代IT技術分野に研究開発投資を行い獲得した、AI・IoT・Cloud・Security・Robotics分野での高い技術力により、新しい着想を実現
3. サービス企画・開発・運用力	新しい着想で実現した製品をパッケージサービスとして汎用化する企画力。サービスを顧客のニーズに合致した機能、価格、サービスモデルを企画、設計し、開発、運用を行う能力
4. 強固なライセンス収益	国内市場シェアNo1のMDMサービスである「Optimal Biz」、国内最大数のユーザ数を持つ「Optimal Remote」を始めとしたサブスクリプションビジネス（料金を支払うことにより一定期間サービスを受けられるモデル）による強固なライセンス収益
5. コンサルティング力	パートナー企業の市場環境を理解し、パートナー企業と共にオプティムのテクノロジーを活用したイノベーション、新サービスを創造する高いコンサルティング能力
6. 事業創造力	新しい製品・サービスを各産業リーダ企業、通信キャリア、プリンタメーカーなど、多くのパートナーと提携し事業化、あるいは事業を大規模に展開する事業創造力

※1 出典：2015年1月末時点、パテント・リザルト社調査

※2 出典：ミック経済研究所 2019年9月発行、「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2019年度版」より、2018年度実績値調査結果のうち、「Optimal Biz」が1位の評価を得た部門の数をオプティムが集計し、合計19部門で2018年度シェアNo.1の評価を獲得。富士キメラ総研 「2018 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（上巻）」よりモバイルセキュリティ管理ツール市場における市場占有率、「数量」「金額」の割合。テクノ・システム・リサーチ 「2018-2019年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」よりモバイル管理市場 2018年実績。

- **豊富な知的財産**を保有
 - 当社代表は情報通信分野における個人特許資産規模ランキング1位を受賞（2015年1月末時点、パテント・リザルト社調査）
- **経済産業省特許庁**から、平成30年4月に「**知財功労賞**」を授与
- 新規事業分野への参入、事業の多角化、世界展開等、あらゆる局面で知財の有効活用を意識したイノベーション活動を展開
- ピンポイント農薬散布テクノロジーの特許が、令和元年度九州地方発明表彰において、「**文部科学大臣賞**」を受賞



（ご参考：知財功労賞 特許庁長官表彰 受賞のポイントより抜粋）
オプティムは、常に新しい技術を生み出し、取り込みながら研究開発を行い、その成果を活用した製品・サービス、さらにはビジネスモデルで取得した特許権が差別化を生み出すことにより、事業の競争優位性を確保している。

第4次産業革命の中心的企业になる

第4次産業革命に向け、「OPTiM Cloud IoT OS」で国内デファクトスタンダードを獲得し第4次産業革命を本格的にリードする企業を引き続き目指してまいります。

そのために AI・IoT・Robotics分野で柔軟かつ積極的な事業展開、及び、集中投資を行い、必要な事業開発を進めてまいります。

OPTiM Cloud IoT OSは、あらゆる人に直感的なユーザ体験
“IoT端末の制御・データ解析・AI・クラウドサービスとの連携”
を提供するプラットフォームです



OPTiM CLOUD IoT OS

これまでの〇〇×ITの具体的な取組み

AI・IoT・Robotics等の最先端技術を、新たな価値の創造や課題解決を実現するため、様々な業界や産業と融合させた事業を幅広く展開中

OPTiM

ロボット x IT

- 精密機械・ロボット分野のAI・IoT活用



ロボット

農業

農業 x IT

- AI・ドローンを活用したピンポイント農薬散布
- オプティムアグリ・みちのく
- 「スマート農業アライアンス」
- 「スマート農業プロフェッショナルサービス」



医療

医療 x IT

- 遠隔診療「ポケットドクター」
- メディカル・イノベーション研究所
- 先端医療 x AI・IoT
- 次世代医療用ロボット



建設

建設 x IT

- 建設生産プロセス全てを見える化
- スマートグラスによる遠隔作業支援



電力

電力 x IT

- 戦略的提携締結



警察

警察 x IT

- 防犯技術等の包括連携協定



金融

金融 x IT

- AIを活用した振り込み詐欺対策



運輸

運輸 x IT

- 無人駅画像に対するAIでの侵入検知

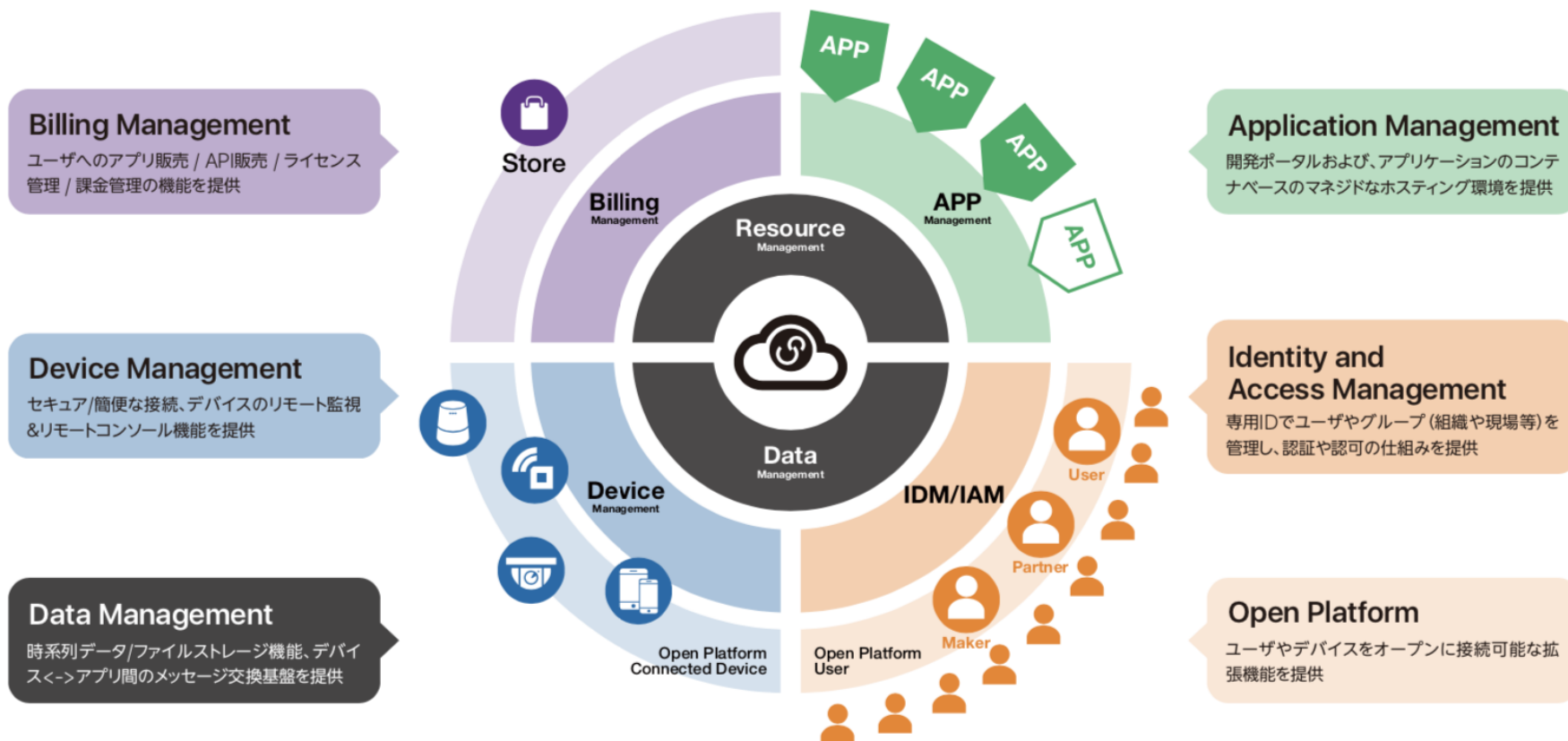
小売 x IT

- AIを活用した無人店舗



プラットフォームのためのプラットフォーム

AI・IoTプラットフォームとしてエコシステムを形成するための一連の機能を具備



2020年3月期 決算ハイライト

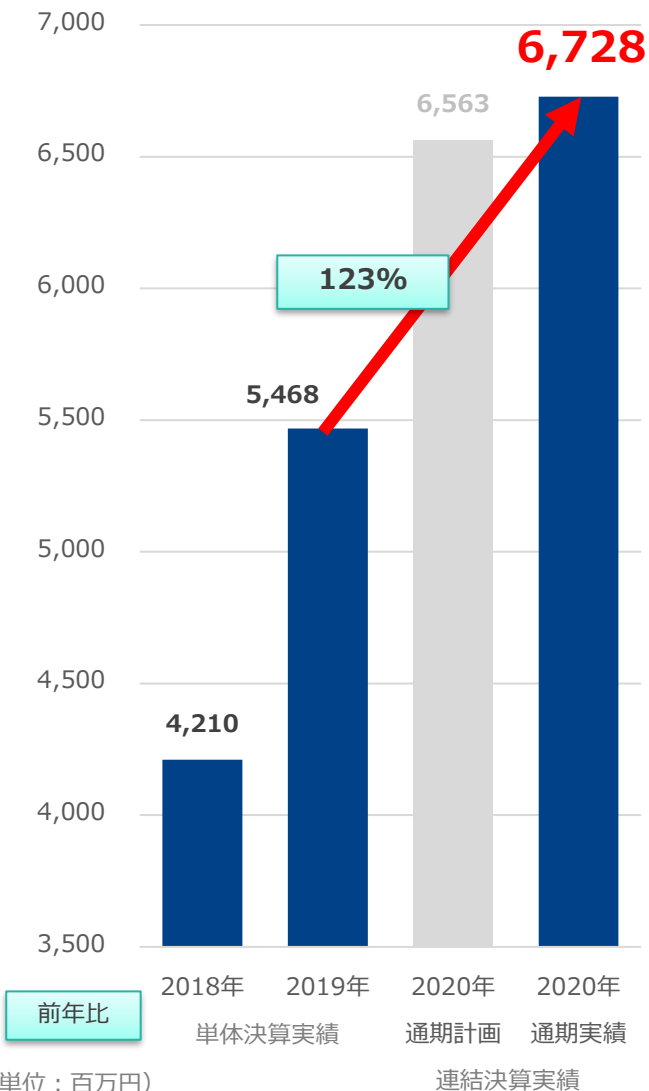
創業来**20期連続**となる
過去最高売上高を達成
2020年3月期の当初売上予測
65.63億から**上振れ**、**67.28億**で着地

売上の70%程度を占める既存サービスのストック型ライセンス売上については、順調にライセンス数を積み上げることが出来ました。

新規サービス（AI/IoTサービス）の受注が好調で、前年比190%以上の実績となりました。
全体売上に占める割合が30%程度となりました。

その結果、全体売上においても前年比123%での着地となっております。

売上実績の推移



前期は単体決算でしたが、参考値として連結実績との比較を行っております。

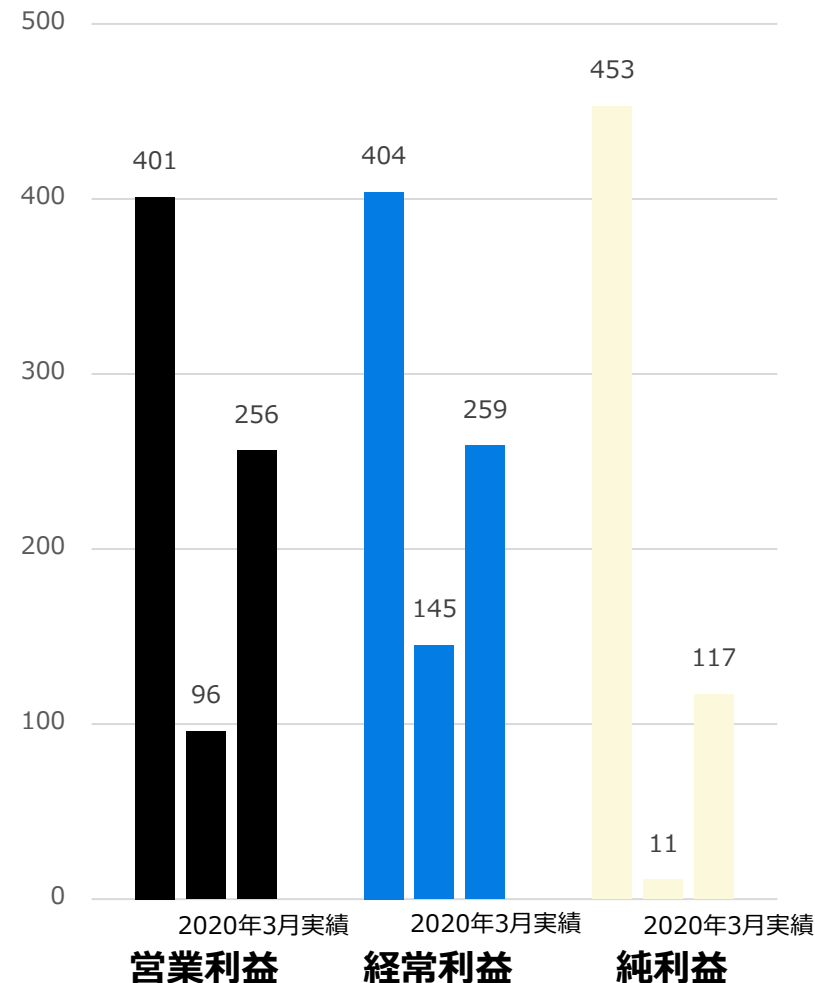
第4次産業革命の中心的企業になるべく AI・IoT・Robotics分野への 積極的投資継続中

～ **利益は通期計画範囲通り** ～

当期も前期に引き続き、戦略的に研究開発に積極投資を実施した一年でした。実績としては、19億円超（前年比で約93%）の研究開発投資となっております。

その結果、
営業利益は、256百万円（前年比266%増）
経常利益は、259百万円（前年比178%増）
純利益は、117百万円（前年比1063%増）
となっております。

3カ年利益実績推移



(単位：百万円) 2018年・2019年は単体決算実績、2020年は連結決算実績

新型コロナウイルスに伴う対応

新型コロナウイルス対策として 無償提供中のサービス

Responding to COVID-19

新型コロナウイルスに対してオプティムが今できること

現在、「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」（令和2年2月25日新型コロナウイルス感染症対策本部決定。）に基づき、感染患者の増加のスピードを可能な限り抑制することために、各方面でさまざまな感染拡大防止策が講じられております。オプティムも、感染の流行を早期に終息させることに貢献するべく、各種サービスの無償提供を行っております。オプティムのサービスを利用することで、オンライン診療および在宅勤務（テレワーク・リモートワーク）の支援や、手指衛生のモニタリング等が可能となり、少しでも感染拡大対策ならびに防止に寄与できればと考えております。

安心・安全な在宅勤務の実施を支援

Optimal Biz / Optimal Biz Remote



「Optimal Biz」を利用することで、クラウドから一元的に利用する端末のセキュリティを適切に保つことができます。「Optimal Biz Remote」を利用することで、遠隔地から画面を共有し操作方法などのサポートが可能となります。

手指衛生モニタリングをサポート

OPTiM AI Camera



「OPTiM AI Camera」の「手指衛生モニタリング機能」を利用することで、人物が入り出した部分を自動抽出し、手のアルコール消毒の実施状況の確認をサポートいたします。

医療機関を受診しなくてもよい体制の構築をサポート

オンライン診療ポケットドクター



オンライン診療を利用すれば、病院へ行く回数を減らせるため、院内感染リスク軽減に繋がります。

遠隔地での現場作業をオンラインで支援

Optimal Second Sight



「Optimal Second Sight」を利用することで、出張することなく遠隔地での現場作業に対するサポートをオンラインで行うことができ、可能な限り業務が継続できるよう支援いたします。

全国のオンライン診療・電話診療対応の 医療機関をマップ確認 オンライン診療ポータル



「オンライン診療ポータル」をご利用いただくことにより、簡単にオンライン診療・電話診療対応医療機関を探すことができるため、院内感染予防を目的としたオンライン診療の活用を促進します。

遠隔での会議・商談をスムーズ かつスピーディに実施

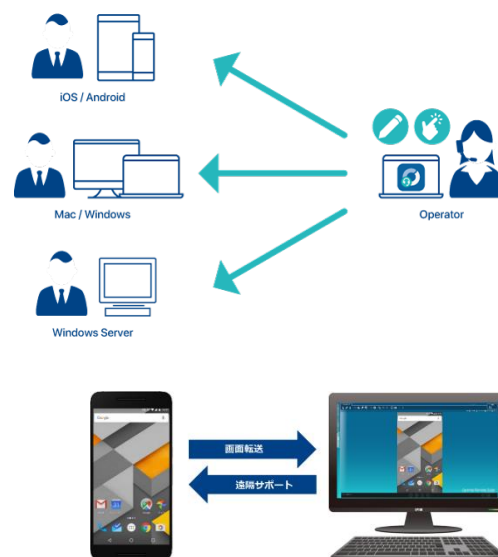
OPTiM Cafe



お手持ちのパソコン・スマホからID登録なしでご利用いただけます。電話やオンライン通話システムと組み合わせて、Web商談、Webセミナー・講義、遠隔サポートなどに幅広くご利用いただけます。

特別定額給付金（仮称）事業の オンライン申請をスムーズに実現

Optimal Remote



「Optimal Remote」をご利用いただくことで、OS設定、アプリケーションなどの操作やトラブルの解決を支援し、口頭説明よりも直感的でスピード感のあるサポートを行うことができるため、お電話でのサポートに苦勞されている、本社と拠点が遠隔地の企業様や、通常業務とサポート業務を兼任されているIT管理者様に重宝されています。

Optimal Biz: Zone Management



無線LANの接続先や位置情報、時間帯に応じて、設定を自動的に切り替える特許です。業務時間内は使用が認められていないアプリケーションの使用を禁止したり、業務時間外になると自由にアプリケーションの使用を許可することなどが可能となるため、リモートワークにおいて効果的となります。

Optimal Biz: Secure Shield

機器の設定アイコンをタップした際に、通常の設定画面ではなく、設定項目を限定したセキュアな設定画面に推移させることで、意図しない機器の設定や操作を利用者に行わせないようにする。



通常の設定では、設定が自由にできるため、セキュリティ設定の管理、運用がむずかしくなる。

セキュアな設定画面に遷移させることで、設定に制限をかけ、MDMを利用した管理を確実に行うことを可能とする。

Optimal Second Sight、オンライン診療ポケットドクター: Overlay Technology



例：オンライン診療ポケットドクター 例：Optimal Second Sight

共有しているライブ映像に作業指示者が赤ペン、指差し、テキストなどによる指示を描画することで、作業者が指示を視覚的に把握しやすくする、遠隔作業支援システムの特許です。

Optimal Second Sight: Overlay Technology (3次元GUIガイド)



共有画面内に立体を表示して、その立体に対して矢印を表示することで、リモート端末のユーザーに対して、どの方向に向きを変更するべきか、どの方向へ進むべきかを指示します。

2020年3月期 主要活動実績

新サービス
「OPTiM Cloud IoT OS」
「〇〇×IT」

オプティムのAIソリューションが 4部門で市場シェアNo.1を獲得

～ ミック経済研究所発刊の調査レポートにおいて ～

OPTiM[®] AI Industry



オプティムのAIソリューションが、業種別売上高動向の「農林水産業」・「医療」部門、ユーザー従業員規模別売上高動向の「ユーザー従業員数300名未満の売上動向」部門、測定・観察・探索市場動向の「測定・観察・探索ベンダーシェア」の4部門でシェア1位^{※1}を獲得

^{※1} 出典：ミック経済研究所 2019年9月17日発刊、「AI（ディープラーニング）活用の画像認識ソリューション市場の現状と展望【2019年度版】」より

「OPTiM AI Camera」新サービスを発表： 「OPTiM AI Camera Lite」 「OPTiM AI Camera Mobile」 「OPTiM AI Creator」

エントリープランとスマホだけで使えるサービスが登場、
お客様によるAIの追加作成も実現



世界初※1、スマホ・タブレットで顧客分析 を実現する画像解析ソリューション 「OPTiM AI Camera Mobile」提供開始



紹介動画URLはこちら：

<https://youtu.be/GUy830D4BWM>

https://youtu.be/_wV8Ckj_MeI

「OPTiM AI Research」 「OPTiM AI Signage」を発表

AIによる詳細な顧客分析、店頭におけるピンポイントでのマーケティングを実現

■ 「OPTiM AI Research」



■ 「OPTiM AI Signage」



紹介動画URLはこちら：<https://youtu.be/1en2pWrTafw>

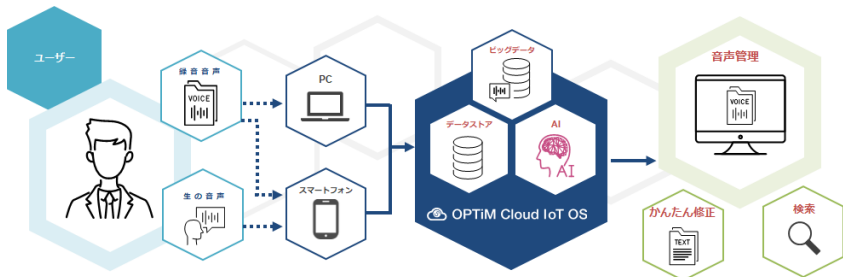
※1 出典：2020年1月30日時点、オプティム調べ。Google Play Store上で購入が可能な、Deep Learningによる人物の性年代分析をモバイルCPU処理により実現する画像解析ソリューションとして

2019.10.10, 10.16, 2019.10.17, 2019.10.18, 10.24プレスリリース

AI音声解析サービス

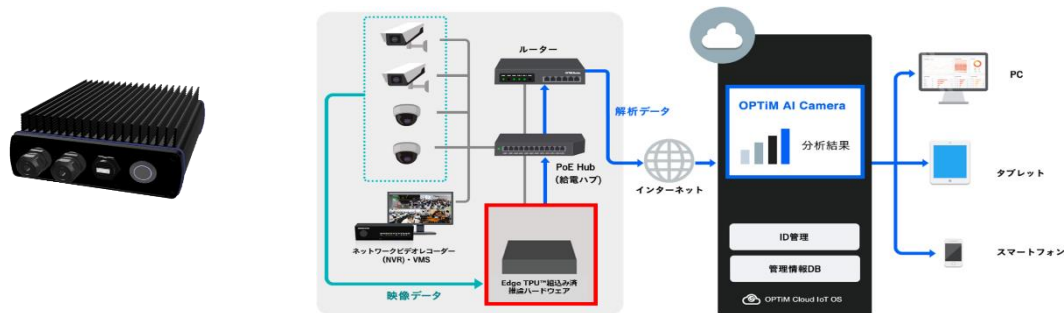
「OPTiM AI Voice Recorder」を発表

「OPTiM AI Voice」を大幅バージョンアップ、月額8,300円から利用可能



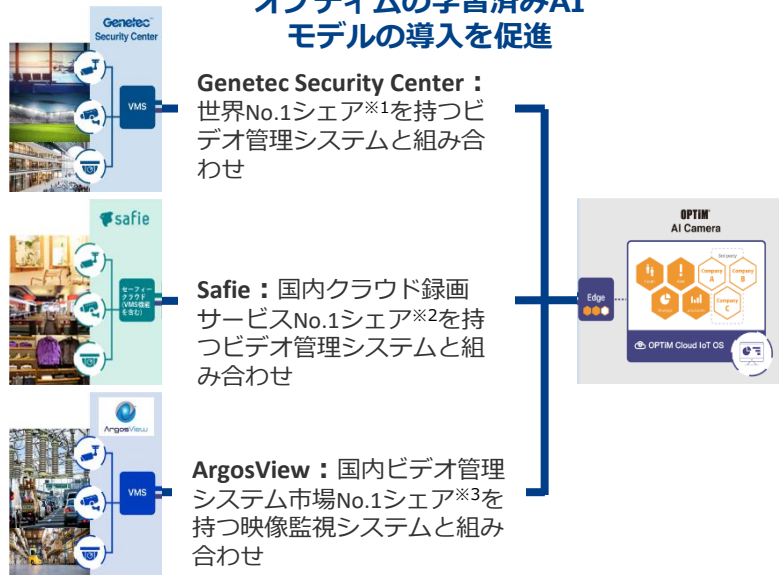
エッジコンピューティングデバイス 「OPTiM Edge」シリーズ、新モデルを発表

高い性能を持つ推論インスタンスを
より低コストに組合せてAIサービスを構築できることが期待



「OPTiM AI Camera」 ビデオ管理システムとの連携を拡大

オプティムの学習済みAI
モデルの導入を促進



※1 出典：2019年6月、IHS Markit発表調査レポートより
 ※2 出典：株式会社テクノ・システム・リサーチ「2018年ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査」、2017年クラウド録画サービスカメラシェア
 ※3 出典：株式会社富士経済発表、「2017、2018 セキュリティ関連市場の将来展望」より

2019.06.17, 2019.07.04, 2019.11.18プレスリリース

AIやドローンを使い、 農薬使用量を抑えたあんしん・安全なお米 「スマート米2020」、2019年度産新米の販売を開始



- 「スマート米2020」(2019年度産)取扱品種
佐賀県産「さがびより」・大分県産「にごまる」・福岡県産、佐賀県産「ヒノヒカリ」
青森県産「まっしぐら」・佐賀県産「夢しずく」(2019年産より新発売)
青森県産「つがるロマン」(2019年産より新発売)・新潟県魚沼産「コシヒカリ」
(2019年産より新発売)

無添加・無着色・カフェインゼロのお茶 「香ばし大豆茶」、「香ばし黒豆茶」の販売を開始

ピンポイント農薬散布テクノロジーにて栽培された大豆を使用



このたび販売開始するお茶は、「香ばし大豆茶」と「香ばし黒豆茶」の2種類となります。大豆のみを原料とした無添加・無着色・カフェインゼロのお茶となりますので、小さなお子様からカフェインの過剰摂取を気にされている方まで幅広くお召し上がり頂けます。

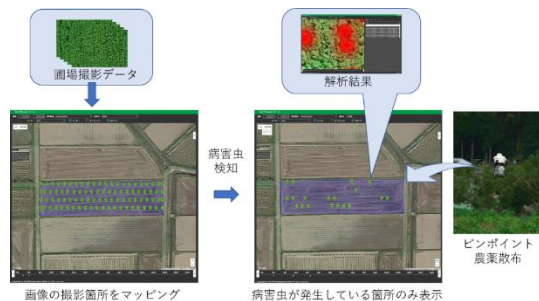
また、生産された黒大豆・黄大豆が持つ素材の特長を活かすために、じっくり時間をかけた焙煎方法を採用しております。渋みや雑味を抑え、それぞれの大豆が持つ香りをお楽しみ頂ける商品設計となっております。

兵庫県丹波県民局とスマート農業を活用した特産物の生産力強化に向けた共同事業を実施

◆「丹波黒 大豆・枝豆」、「山の芋」のイメージ



◆「ピンポイント農薬散布」実施イメージ



1. **病害虫検知技術にかかる研究開発・実証**
丹波黒大豆における検知可能病害虫の拡充、及び新規作物として山の芋における葉洗病などの病害発生状況のAI（人工知能）による早期検知手法の確立を目指します。
2. **ドローンによるピンポイント農薬散布テクノロジーを組み合わせた病害虫防除体系の構築**
丹波黒、山の芋における最適な農薬散布手法等を検証し、防除体系の構築を目指します。

2019.07.18, 2019.10.08, 2019.10.23プレスリリース

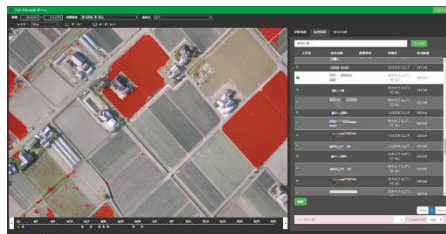
日本初※、長崎県五島市において AI・ドローンを用いた作付け確認業務支援の 実証事業を開始

内閣府地方創生推進交付金・五島市ドローンi-Landプロジェクトの一環として実施

固定翼ドローン「OPTiM Hawk」



◆AIを用いた作付け確認イメージ



オプティムとエンルート、 AI・IoT・ドローンを活用した スマート農業分野での協業を発表

∞ 農業 × IT Solutions

OPTiM® eNROUTE

スマート農業に対する課題解決をワンストップで支援する 「スマート農業プロフェッショナルサービス」を開始

スマート農業に必要なあらゆるハードウェア、ソフトウェア、サービスを一括で提供



生産法人や大規模企業の課題に対し、スマート農業向けハードウェア、ソフトウェア、サービスと当社の農業領域のノウハウを活かしたコンサルティングサービスをあわせてワンストップで課題解決を目指すサービス

※2019年6月28日時点、当社調べ。ドローン空撮による農作物作付け確認において、AIによる自動判別を取り入れる実証を「事業」として行う試みとして。

ピンポイント農薬散布テクノロジーの特許、九州地方発明表彰の「文部科学大臣賞」を受賞

特許番号	特許第6326009号
発明の名称	無線航空機、位置情報出力方法及び無線航空機用プログラム
出願日	2015年6月29日
登録日	2018年4月20日



オプティムとVNPT、ベトナムにおける AIサービスおよびスマート農業分野において業務提携

VNPT(Vietnam Posts and Telecommunications Group) :
ベトナム最大※1通信キャリア国営ベトナム郵政通信グループ

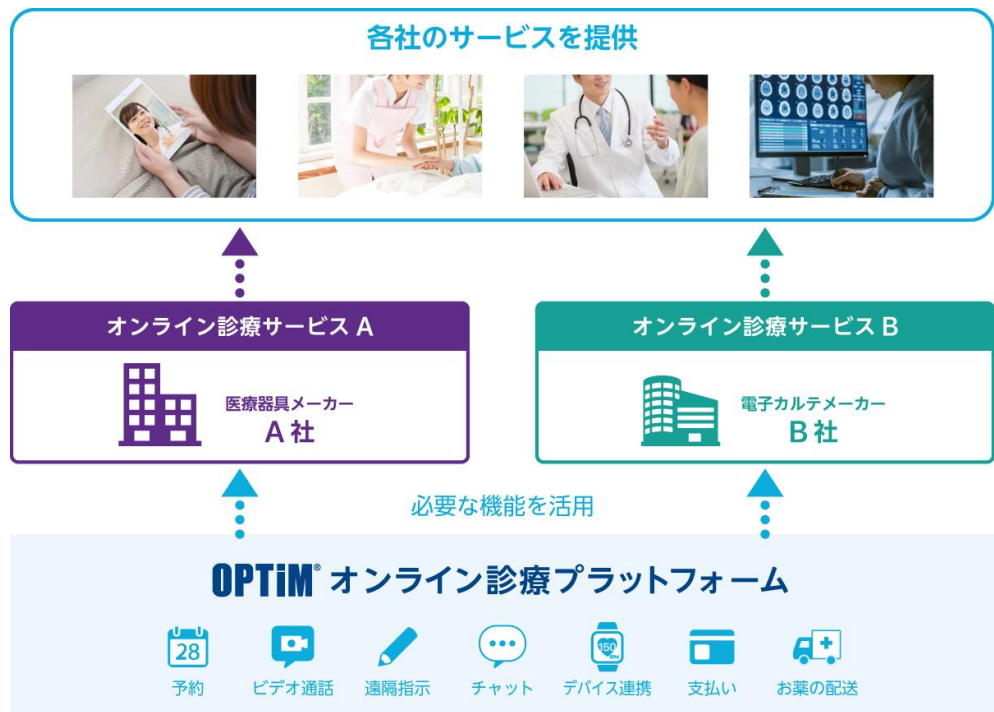


両社のシナジーを最大限に発揮し、高度なAI・IoT技術を応用したベトナムにおけるAIカメラサービス、スマート農業事業の展開を通じて、現地の産業の発展と人々の健やかな暮らしの実現に貢献して参ります。

※1 出典：2017年7月7日VNPT調べ、固定ブロードバンド市場において。
<http://www.vnpt.vn/en/News/NewsEvents/View/tabid/219/newsid/46714/seo/VNPT-accounts-for-47-of-the-fixed-broadband-market/Default.aspx>

オンライン診療プラットフォームのOEM提供を発表

オンライン診療システムを手軽かつスピーディーに開発

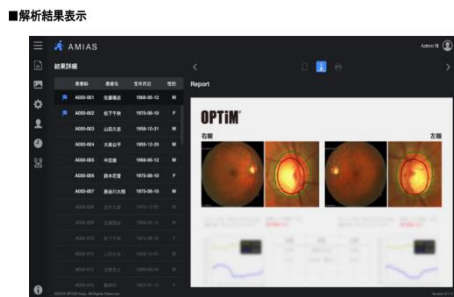


オンライン診療プラットフォームの特長

- 短期間でサービス提供開始が可能
- 検討中のサービスに合わせた、適切かつ豊富な機能を提供
- オンライン診療で実績のある高い技術力と高品質のサービスを提供

2019.04.11, 2019.5.23, 2019.6.27プレスリリース

医療画像診断支援AI統合オープンプラットフォーム「AMIAS」(アミヤス)を提供開始

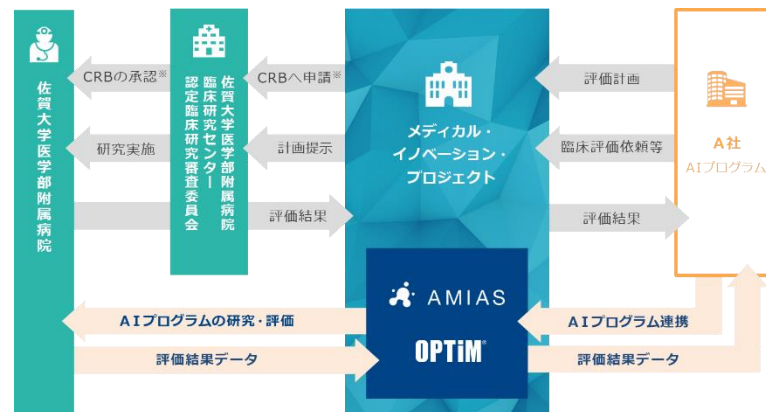


■「AMIAS」パートナー



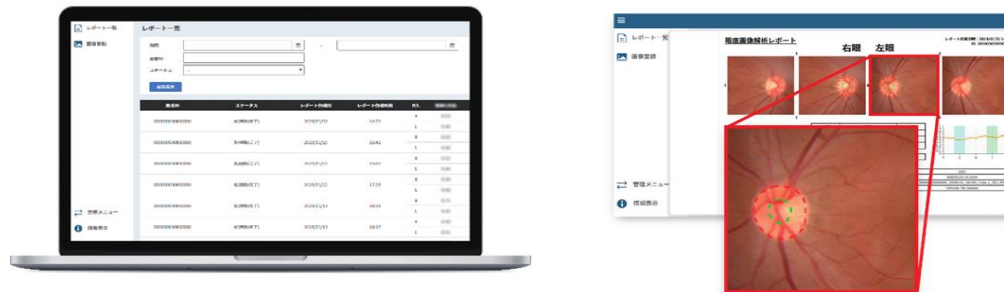
© 50 目録

佐賀大学とオプティム、医療画像診断支援AIの臨床研究を推進



※CRB：認定臨床研究審査委員会 (Certified Review Board)
<https://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/chiken/clinical-study/CRB/flow/transitional.html>

「眼底画像診断支援システム OPTiM Doctor Eye」 医療機器プログラムの認証を取得



聖路加国際大学とオプティム、「OPTiM AI Camera」を用いた 手指衛生モニタリング手法の評価を行う共同研究を開始



聖路加国際病院で現在取り組んでいる、サーベイランスカメラ（監視カメラ）を用いた直接観察法※1による手指衛生モニタリングにおいて、モニタリング対象区間をAIにより自動抽出する機能を併用した場合、手指衛生実施率、観察される手指衛生機会数、モニタリングの所要時間がどのような影響を受けるのか評価

※1 観察者が、所定場所・所定時間内にて、手指衛生の実施を要する回数と、実際の対象者の手指衛生実施回数を観察して記録する方法

AIカメラの導入で広がる介護の未来！

～“ご利用者様のニーズを分析する”検証を開始！満足度向上を目指します～



導入モデルケース（例）

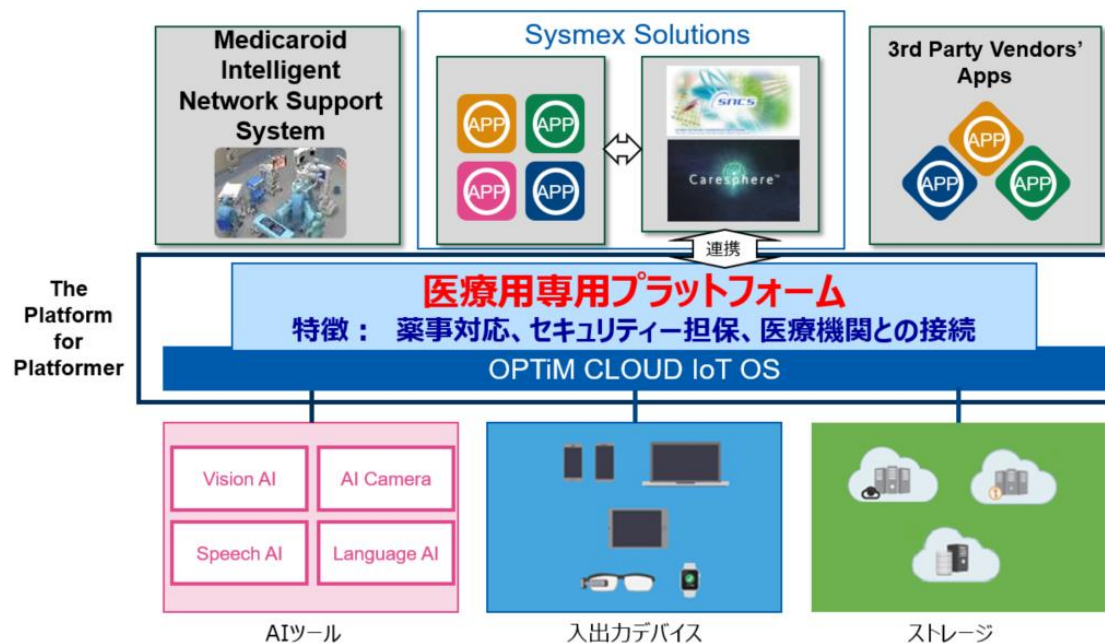


ソラストが運営する一部のデイサービス施設に、オプティムが提供する「OPTiM AI Camera」を設置し、従業員のオペレーションをAIで可視化してニーズを分析する検証を9月よりスタートします。

両社は2020年度中にこの検証を活用し、「OPTiM AI Camera」による転倒の事前検知やセンサーによる施設内の環境管理など、ご利用者様の一人ひとりに寄り添った魅力ある介護運営を目指すとともに、さらなる満足度の向上を図ります。

オプティムとシスメックス、次世代の医療・診断を支える デジタル医療の事業化加速を目的に合併会社設立に向け基本合意

～デジタル医療に関するプラットフォームとアプリケーション
の早期提供を目指す～



オプティムとメディカロイド、 次世代医療用ロボットに関連する業務において業務提携



両社のシナジーを最大限に発揮し、高度なAI・IoT技術を応用した次世代手術支援ロボットシステムの開発を通じて、理想の医療の実現へ取り組んでまいります。

オプティムと川崎重工、 精密機械・ロボット分野のAI・IoT活用における業務提携

OPTiM

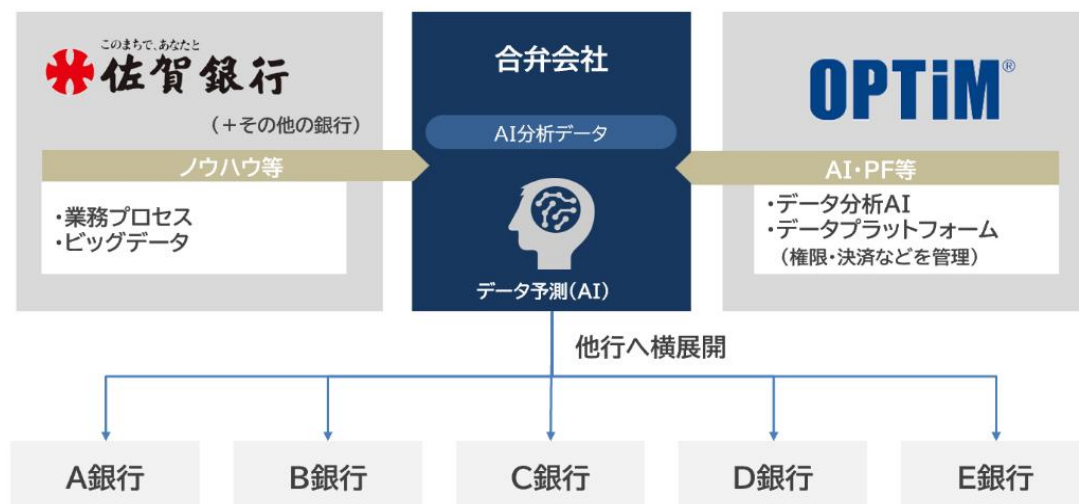
 **Kawasaki**
Powering your potential



両社は、様々な産業での活躍が期待される精密機械・ロボットをネットワークに接続し、得られる情報をAIが解析するプラットフォームを構築することで、精密機械・ロボット分野におけるAI・IoT技術を生かした、新たなビジネスソリューションの早期開発・事業化とグローバル展開を目指します。

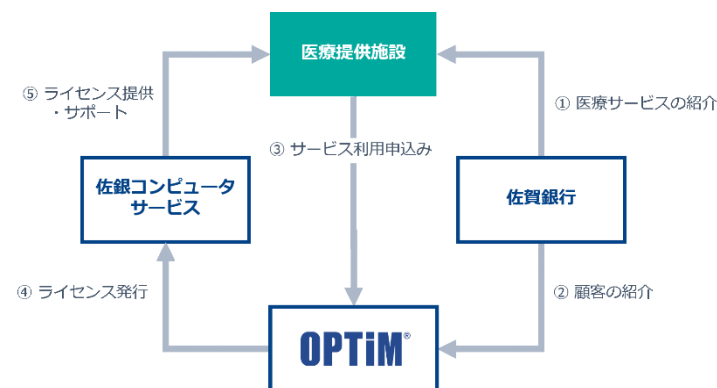
佐賀銀行とオプティム、合併会社設立に向け基本合意

地銀・地域デジタルトランスフォーメーションを行い、
AIソリューション販売、ファンド設立などを通じて、
第4次産業革命を地域より推進



佐賀銀行とAI・IoTを活用した在宅医療支援サービスのビジネスマッチングを開始

「金融×IT 戦略的包括提携」の取り組みの一環として推進



オプティムと松尾建設、 AI・IoT技術を活用した取り組みを推進すべく、 「建設×IT 戦略的包括提携」を締結



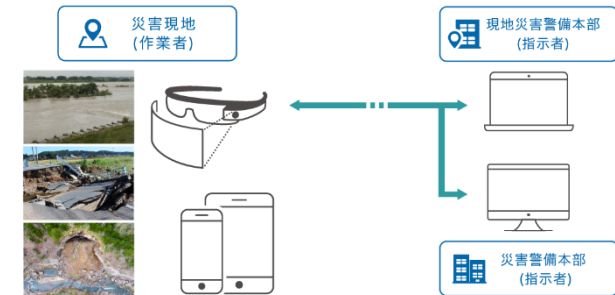
<戦略的包括提携内容>

1. AI等の技術を活用したスマホ3次元測量サービス・アプリケーションの開発
2. 「OPTiM AI Camera」等を活用した建設現場安全管理システムの導入
3. AIや遠隔支援技術を活用した建設会社向け技術者支援システム（OB・OG技術者活用プラットフォーム）の検証・開発など

遠隔作業支援サービス 「Optimal Second Sight」、災害対策の支援機器として佐賀県警察へ提供開

Optimal Second Sight

リアルタイムな現場の共有と、状況に応じた指示が可能



既存サービス・その他

複数調査レポートにおいて、シェアNo.1を獲得

ミック経済研究所：2018年度国内EMM・MDM市場でシェアNo.1 ※1を獲得



IDC Japan：2018年国内エンタープライズモビリティ管理ソフトウェア市場 売上額実績シェアNo.1 ※3を獲得



富士キメラ総研：4年連続 国内MDM・EMM市場でシェアNo.1 ※2を達成

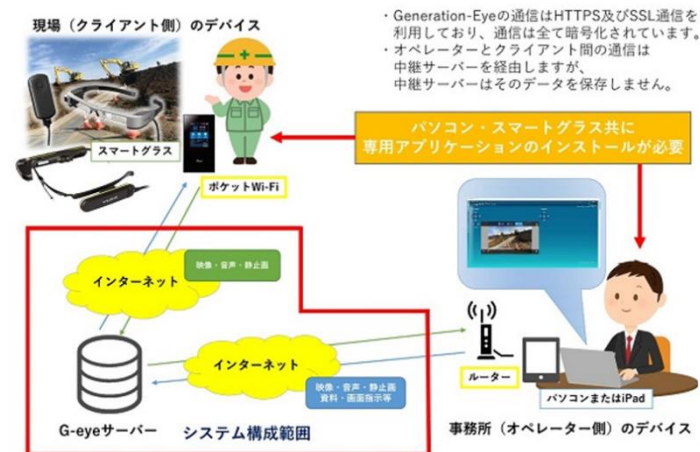


テクノ・システム・リサーチ：2019年の「モバイル管理市場」において、19部門中13の部門でシェアNo.1 ※4を獲得



※1 出典：ミック経済研究所 2019年9月発刊、「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2019年度版」より
 ※2 出典：2016年11月発刊、「2016 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（上巻）」、2017年9月発刊、「2017 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（上巻）」、2018年10月発刊、「2018 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（上巻）」、2019年10月発刊、「2019 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧《市場編》」より
 ※3 出典：IDC Japan発刊、「国内システム/サービス管理ソフトウェア市場シェア、2018年：SaaSとITオペレーション分析の本格化」 # JPJ44569319より
 ※4 出典：テクノ・システム・リサーチ2020年1月発刊、「2019-2020年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」の「II.市場動向編」、「2.モバイル管理市場」より

遠隔作業支援サービス「Optimal Second Sight」の OEMサービス「Generation-Eye (G-eye)」、 国土交通省の新技术情報提供システムNETISに登録

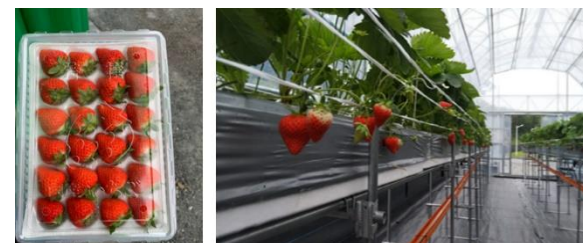


「Generation-Eye (G-eye)」運用イメージ

国産ARスマートグラス「AceReal One」が 遠隔作業支援サービス「Optimal Second Sight」に対応



日本とロシアの国境を越えた遠隔でのいちご栽培支援に、 現場管理支援サービス「Smart Field」を提供





OPTiM初の単独プライベートショー
「OPTiM Innovation2019」を開催

AIの未来とあらゆる産業のビジョンがここに集まる

<https://www.optim.co.jp/event/201910-optiminnovation-report>



IPインフォメーション：オプティムが保有する特許について、その内容と活用例、活用イメージを定期的に分かりやすく紹介していきます。

<https://www.optim.co.jp/news/intellectual-property>



OPTiMを支える技術を紹介する
「OPTiM TECH BLOG」を運用中

<https://tech-blog.optim.co.jp/>

「OPTiM KOBE」を新たに開設

<https://youtu.be/Yf9HEFaR8IM>



2021年3月期 業績予想

〇〇×IT戦略に対する投資計画

おおむね順調に進捗
更なるAI・IoT・Roboticsの技術獲得
及び売上計上に向けた取組を推進する

AI・IoT・Robotics分野への積極投資を継続し、本格的な売上計上、及び、利益回収を以下年表に基づき実現していく。（年数は、年度表示）

研究開発投資推移イメージ



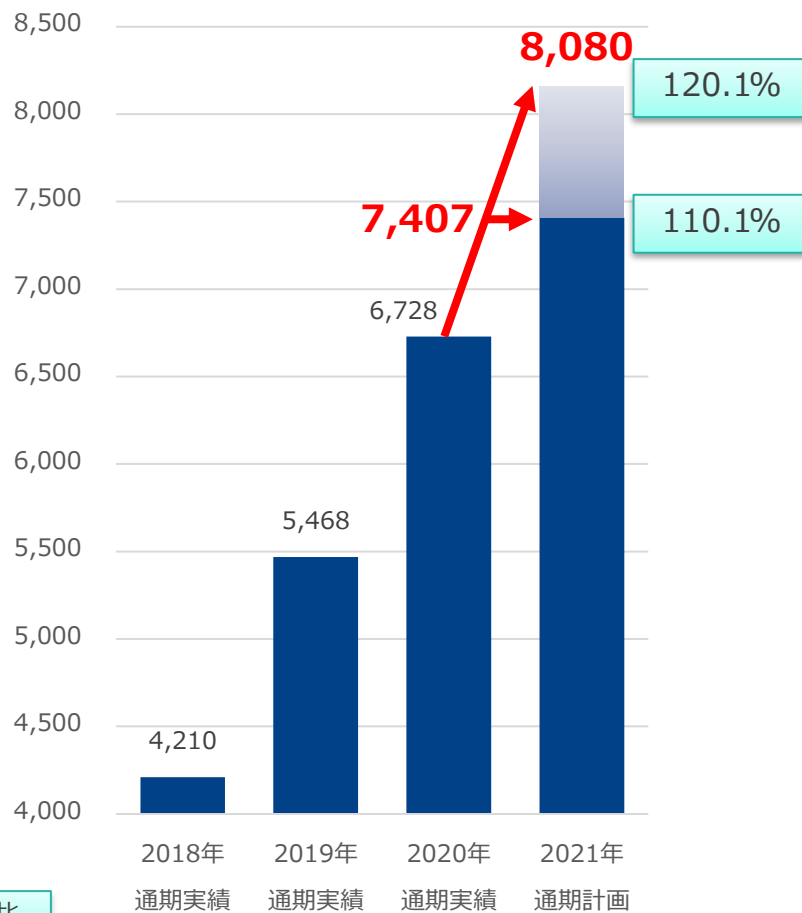
2021年3月期の業績は、
創業来**21期連続**となる
過去**最高売上高**を目指します。

2021年3月期
80.80億円売上～74.07億円
(前年比120.1%～110.1%)
の範囲で計画

当社サービス全般については、順調な成長が見込まれており、120%程度の売上成長を計画しております。

一方で現在、長期にわたる全世界規模での新型コロナウイルスの経済的影響が見込まれており、当社においても現時点では顕在化されていないリスクが存在している可能性があります。そのリスクに対する対応として最大で10%程度の売上低減を踏まえたレンジでの計画値を設定しております。

売上予想



前年比

(単位：百万円)

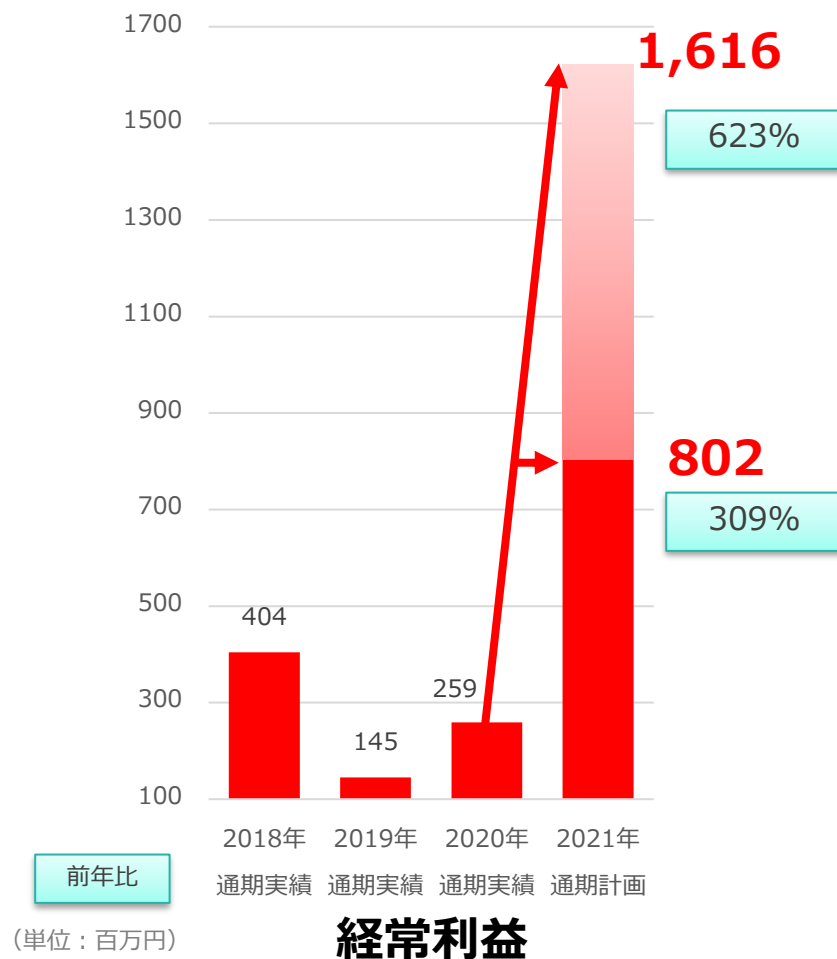
2018年・2019年は単体決算実績、2020年・2021年は連結決算実績

2021年3月期の業績は 過去**最高利益**を目指します

第4次産業革命の中心的企業になるべく
過去3カ年においてAI・IoT・Robotics分野に
積極的な投資を行ってまいりました。
当期は計画通り、利益回収を行う期と位置付けており、
経常利益率20%程度を計画しております。
一方で、特に新規サービスにおいては、新型コロナウイルスの影響が完全には予測できない状況であること、そのような中でも継続的な研究開発投資を当期も継続させることを計画しており、当期も前期に引き続き、レンジ形式による利益予想を採用します

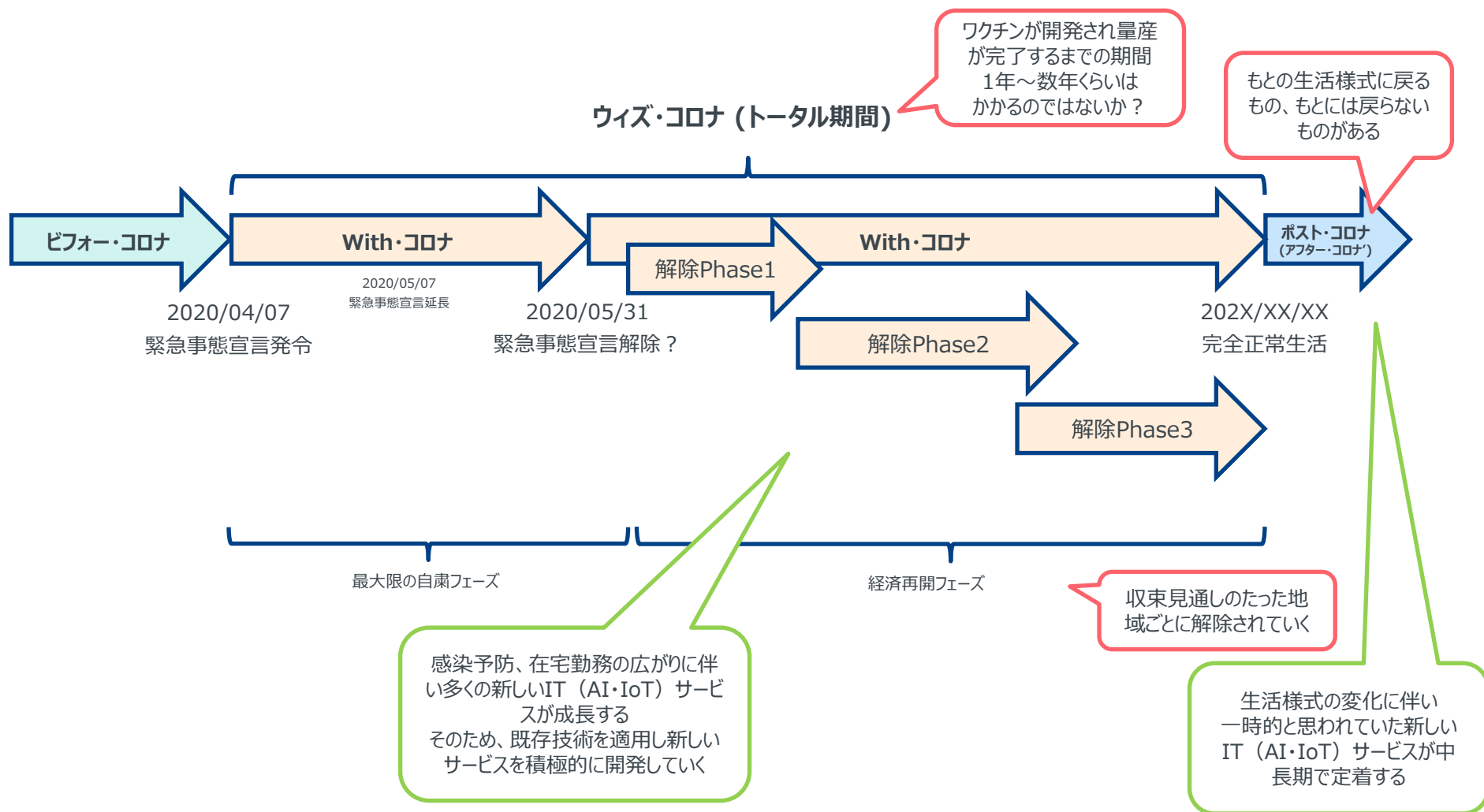
2021年3月期
経常利益16.16億円～8.02億円
(経常利益率20%～10%)
(前年比623%～309%)
の範囲で計画

過去3カ年実績利益推移、
及び、2021年3月期予想



2018年・2019年は単体決算実績、2020年・2021年は連結決算実績

当社における新型コロナウイルスの経済的影響の認識



新型コロナウイルスの経済的影響がさらに拡大した場合には事業計画の変更を必要とする可能性があります

ポジティブと思われるサービス

① リモートワーク関連

OptimalBiz
(MDM)

Optimal
Remote

遠隔作業支援

② 遠隔診療関連

遠隔診療

③ コロナ対策に関連する現場利用型AI関連

OPTiM AI CameraなどのAI系サービス

④ コロナ影響を受けにくいパートナーとのAI・IoTプロジェクト

慎重に影響を見極めたいサービス

① コロナ影響を受けやすいパートナーとのAI・IoTプロジェクト

② コロナ対策に関連しない現場利用型AI関連

OPTiM AI CameraなどのAI系サービス

現時点において、新型コロナウイルスの影響が当社の事業、サービスに大幅なマイナス影響が出ることは確認されておられません。ただし、今後、新型コロナウイルスの影響を受けやすいパートナーとのプロジェクトに影響が出る可能性があるかと認識しています。

業績への影響が確認され次第、速やかに開示いたします。

第4次産業革命の中心的企業になるべく過去3カ年においてAI・IoT・Robotics分野に積極的な投資を行ってまいりました。当期は計画通り、利益回収を行う期と位置付けております。

売上については、創業来**21期連続**となる過去**最高売上高**を目指します。

利益についても、過去**最高利益**を目指します

